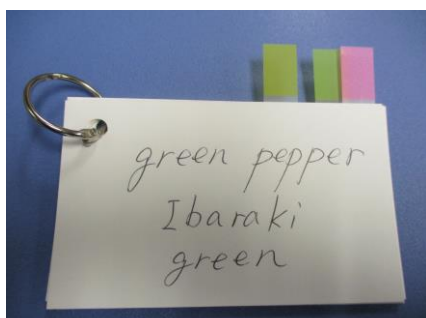


【小学校外国語教育推進リーダーの実践紹介】

南会津域内の小学校外国語教育推進リーダーの先生の実践を紹介します。単元のゴールの明確化、目的・場面・状況の設定の工夫、教材の工夫、ICTの活用など、今後の小学校外国語活動や外国語教育の参考となる実践です。

【室井先生の実践から】



＜「書くこと」の指導＞

6年生の「Unit 6 Let's think about our food.」の単元で、オリジナルカレーの材料（産地や栄養グループ）をメニューカードに書いてALTの先生へ紹介する活動実践です。

ALTの先生のために栄養のバランスを考え、ALTの先生が好きなカレーの材料を考えたり、その材料の産地を紹介したりする活動に子供たちは意欲的に取り組んでいました。

「メニューカードに書いて伝える」という単元のゴールが明確になっているため、活動に必然性があり、子供は抵抗なく単語を書ける活動となっています。

る活動となっています。

また、各授業の導入では発音と綴りについて気づかせる活動を、毎回取り入れています。単語をスピードを変えて聞かせたり、聞こえた音（単語）のつづりを考えさせたり、四線ノートで大文字や小文字の大きさに気づかせたりと、文字指導を段階的に取り入れるなど工夫されています。



【大内先生の実践から】

＜話すこと（やり取り）の指導＞



5年生の「Unit 6 What would you like?」では、ていねいな表現で注文をしたり、会計をしたりする活動があります。

大内先生の実践では、「館岩グローバルレストラン」を開き、子供たちが、ウェイター役とお客さん役になり、やり取りを行う活動が設定されていました。練習場面では実際の会話の場面をタブレットで撮影し、活動を振り返る活動もありました。

「館岩グローバルレストランを開く」というゴールが明確となっているため、「話すこと（やり取り）」や「書くこと」への意欲が高まる実践です。

子供たちは「What would you like?」を使ってALTや友達に話しかけ、自分で考えた館岩名物のおすすめメニュー（赤カブ、トマト、アスパラ、そば、きのこ、イワナなどの料理）の説明をしたり、注文を受けたりすることができました。



【荒井先生の実践から】

荒井先生が定期的に発行している外国語だより「Shimogo English Journal」から紹介します。
＜文字に親しむ活動の工夫＞



3年生では、アルファベットの大き文字を学習します。文字の導入では、楽しみながら学習することがとても大切です。荒井先生はアルファベットの形を体で表現する活動を取り入れています。座学だけでなく活動があることで、文字の形や読み方に慣れ親しむことができる実践です。

＜教材の工夫・活用＞

4年生の「Unit7 What do you want?」では、お店でほしい材料を買って、オリジナルのパフェやピザを作る活動があります。荒井先生は、実際の言語使用場面に近くなるように、ピザ生地ワークシートとトッピングの野菜を切り抜いた絵カードをラミネート加工し、それを使ってやり取りする場面を設定しています。

子供たちは、思い思いの具材をパフェやピザに盛り付ける活動に楽しく取り組み、英語でほしいものを伝えることができました。教材を工夫することで、子供たちの活動への意欲が一層高まる実践です。



＜タブレット端末の活用＞

6年生の「Unit3 Let's go to Italy.」の単元では、行ってみたい国を紹介する活動があります。子供たちはタブレット端末を使ってプレゼン資料を作成しました。

タブレット端末を活用することで、行ってみたい国の写真をクラス全体に見やすく提示することができました。また、教師も児童一人一人の進捗状況を把握できることもタブレット活用の利点といえます。

【池上先生の実践から】



＜導入 Chants の工夫＞

6年生「Unit 4 Enjoy Communication」では、過去形で表現する活動があります。

池上先生は、授業の導入で、学習する表現を用いた歌やチャンツの活動を毎回取り入れています。子供たちもウォームアップを通して、その表現を自然と口ずさめるようになっています。映像もあり、楽しく学べる雰囲気づくりがされています。

＜単元のゴールの明確化＞

池上先生は本単元のゴールとして「修学旅行で印象に残った場面をタブレットで紹介する活動」を設定しています。児童が実際に体験した修学旅行なので、行った場所や食べたものや感想等、過去形を使って表現することが可能です。

授業では、池上先生が、実際に訪れた場所をモニターで提示し、児童の質問に過去形を使って答える場面がありました。単元のゴールイメージを児童と共有する工夫がされていました。

子供たちは自分が訪れた場所の中から、伝えたい場面を選んで説明したり友達の質問に答えたりする活動に意欲的に取り組みました。複式で実施したので、5年生にとっては次年度の修学旅行についてもイメージをもつことができたようです。

福島県教育庁南会津教育事務所 学校教育課

TEL 0241-62-5255 HP <https://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/70510a/>

